



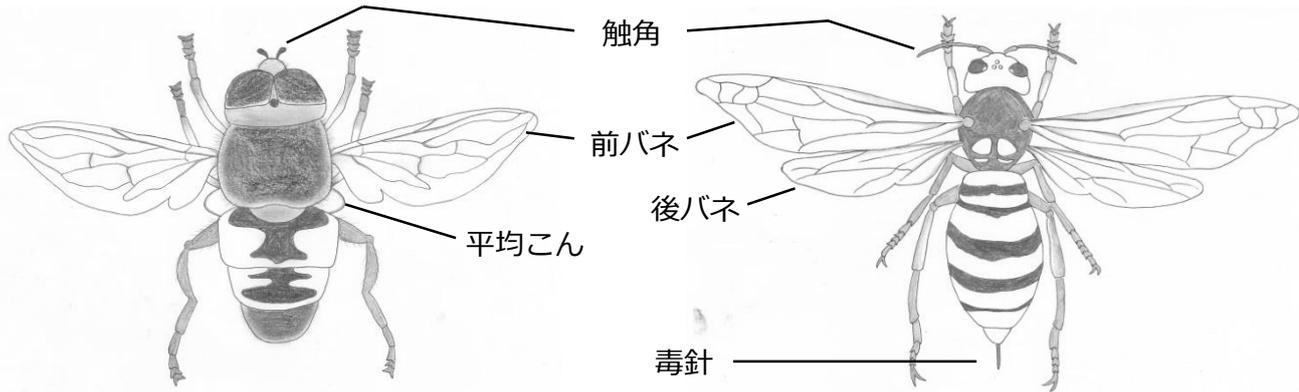


# とねり自然図鑑



動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ〜」という情報もお楽しみに。

【撮影した軽部忠志さんのつぶやき】 きれいなハルゼオンを撮影しようと思ったら、ハチがいて思わずドキッとしたけども、よくよく見たらハチではなくアブでした。きれいなハルゼオンとアブの対比が美しい写真が取れました。



## ハナアブ

学名：Syrphidae 体長：4~25mm  
 分類：ハエ目（双翅目）種類：約6000種  
 主食：花粉、花蜜 天敵：オニヤンマ

## スズメバチ

学名：Vespinae 体長：18~40mm  
 分類：ハチ目（膜翅目）種類：8種  
 主食：花蜜、樹液 天敵：野鳥、熊

## 【アブとハチの違いは？】

○撮影した軽部さんが思わずハチと見間違えたアブ。一見よく似てはいますが、どうやって見分けたらよいのでしょうか？

まず、わかりやすい違いはハチと言えばお尻に毒針がありますが、アブにはありません。このハチの毒針はメスしか持っていません。なぜなら、毒針は産卵管が変化したものだからです。対してアブは口が鋭く、皮膚を切り裂くようにして出血させてその血を吸うので強い痛みを感じます。しかし、ハナアブは基本的に花の蜜や花粉をなめるのですべてのアブが攻撃的というわけではありません。

2つめはハネの枚数です。ハチは前バネ2枚と後バネ2枚の計4枚あるのに対して、アブは前バネ2枚しかありません。その代わりに体中央にある平均こんでバランスを取っています。

バランスを取っています。実はこの平均こんが元々後バネであり、これによって自由自在な飛行が可能となっているのです。この平均こんがないと、アブはハネがあっても空を飛ぶことが出来なくなります。

3つめは顔です。ハチは長い触角があり、目は小さく鋭いのですが、アブは触角は短く、目が大きいのが特徴です。だから、表紙の写真はお尻を見なくてもアブだという事がわかりますよね。そして、身体のラインも決定的に違います。頭と胸、胸と腹の間が細くくびれているのがハチ。一般的にくびれがほとんどなく、ずんどうなのはアブです。この体のラインの違いは実は、ハチはアリの仲間であり、アブはハエの仲間という事なのです。

## 「舎人図書館にある参考資料の一部を紹介↓

- ！ジャン・アンリ・ファール『少年少女ファール昆虫記3』 偕成社
- ！ジョージ・マクガヴァン『公園で探せる昆虫図鑑』 日本ヴォーグ社
- ！鈴木欣司・鈴木悦子『昆虫好きの生態観察図鑑Ⅱ』 緑書房

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！